

そして

うたおう

NO.198 2022年4月4日発行

＜練習予定＞	4月.....	4日	18日	
	5月.....	9日	16日	30日
	6月.....	6日	13日	27日

※この他に練習日が追加になるかもしれません。

湘南合唱祭…6月5日（日）第二部出演

練習曲 「飛行機よ」 寺山修司/作詞 萩京子/作曲

組曲「戸隠」 大川五郎/作詞作曲

「どこかで春が」 寺嶋隆也/編曲

「発見のうた」 木島始/作詞 萩京子/作曲

＜練習時間＞ 月曜日6時30分～9時00分 ＜練習場所＞ 崇善公民館

練習欠席の際の連絡 男性：鈴木 090・8452・5037

女性：栗原 090・4920・6626

北村 090・4077・3947

春のコーラスフェスティバル～新ホールの産声～

春のコーラスフェスティバルに参加された皆様方、木の匂いの香る生まれたばかりのホールでの演奏はいかがでしたでしょうか。山台の台や部品も全て新品で、市のマークが焼き印されていました。トイレはどこ？控室はどこ？と右往左往もしましたが、役員の皆様の準備、誘導のお陰で舞台に立ち、楽しく歌うことができました。他のホールと比べて音響的にどうか、私の耳ではよく判断できませんでした。声はよく響いていたのではないのでしょうか。連盟の多くの団が参加しての合唱は、とても良い思い出となりました。また、ホール全体の様子も分かり、9月の演奏会に向けて大いに参考になりました。

次の演奏は6月の湘南合唱祭です。本日はスケジュール表のみの配布となりますが、詳しいことは後日説明いたします。演奏会まで後5カ月。練習回数も限られてきています。9月を見据えて練習をさらに充実させていきましょう。

第69回湘南合唱祭（6／5）について

4月2日に湘南合唱連盟の総会及び第69回合唱祭打合せに参加してきました。すでにお知らせの通り、合唱祭は6月5日（日）に開催されます。場所は「海老

名市文化会館大ホール」です。海老名駅より徒歩5分、駐車場（1時間無料、その後1時間ごと200円）もあります。演奏時間は6分30秒（指揮の振り始めから終わりまで）。歌う曲は、「どこかで春が」「発見のうた」の2曲です。平塚の合唱祭と同じく、リハーサルは無く、更衣もしません。客席から直接移動することになります。よって、今回と同じく衣服は自由となります。どの程度揃えるかについては、また相談させてください。

なお、第70回は「小田原三の丸ホール」で来年6月に開催される予定です。

「発見のうた」木島 始

溺れかけない人がいようか

その苦み 自分の胸で覚えぬうちは

辿り着く 喜びめざし

繰り返し 果てしない

波また波に 弄ばれる

しくじり 息切れる

惨めさを 通り抜け

その先に 新しい自分

誕生させるたびごとに

体には またも季節が 高鳴る

※たび「度」or「旅」？

※「身体」？

木島 始（きじま はじめ）さん【本名：小島 昭三（こじま しょうぞう）】

～京都府京都市中京区生まれ。第六高等学校在学中に敗戦を迎える。1947年東京大学文学部英文科入学、学生運動に加わり、東京大学新聞を編集する。また在学中から詩誌「列島」などに加わり、発行人もつとめた。

1951年卒業、都立北野高等学校教諭として英語を教える。1953年野間宏の跋文を得て『木島始詩集』を刊行、1954年専修大学講師、1963年法政大学第一教養部講師となり、助教授、教授を務める。1991年退職。

米国の詩人ラングストン・ヒューズ、ナット・ヘントフなど、黒人文学やジャズ評論の翻訳のほか、詩集、児童文学、エッセイを数多く刊行した。

詩作品は多くの作曲家により合唱曲となって楽譜出版されている。また林光や間宮芳生など現代音楽の作曲家の作品に詞を提供した。また、小熊秀雄賞（旭川文化団体協議会主催）選考委員をつとめた。～

フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』より

※第68回湘南合唱祭（2019.6.2.）で歌った信長貴富さん作曲の「初心のうた」も木島さんの詩です。